



「海のごちそう地域モデル事業」のご紹介
2023年度版



「海のごちそう地域モデル事業」とは



市民や飲食店、企業、自治体等が連携し、「海と食」にまつわる地域課題の共有や、課題解決のためのメニュー・商品開発、イベント等を実施する事業です。2023年度末までに、全国10地域で展開。各地での取り組みを「モデル事例」として情報発信し、人々の海への興味・関心を高める全国的なムーブメントへとつなげます。

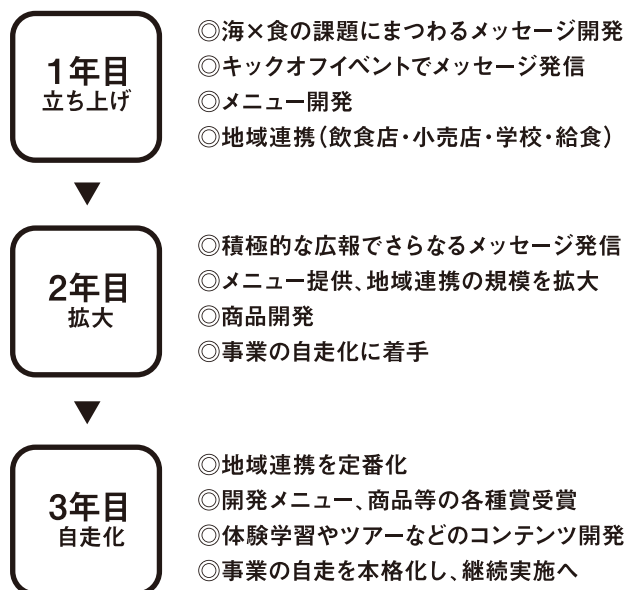
本事業は、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。

基本展開

地域の海で起きている【変化や課題※①】に注目し、その課題解決のために、食を切り口とする新たな取り組みの企画運営・実施体制構築を実施。

3年間で自走化を目指します。

※①【変化や課題】●海水温の上昇●磯焼け●魚種交代●未利用魚・低利用魚●子どもの魚離れ●漁師の高齢化 など



意識変容

授業でプリの話を聞いて、給食で食べて…すごくおいしかった！食べられていないなんてもったいない。家族に、プリのこと、海の変化のことを伝えたい！
(小学5年生)



今回のイベントで、地元の海にいる多様な魚について初めて知り、買い物の選択肢が広がった。試食もおいしかった。海や魚についてもっと知りたいと思った。
(20代 女性)

行動変容

海を守るために、今、私にできることはエコバッグや水筒を持ち歩くこと。ポイ捨てをしないこと。他にもできることがあればやりたい。
(小学6年生)

子どもから大人まで幅広い人々にアプローチ

海のごちそう 地域モデル事業 全国 MAP





全国各地の「海のごちそう地域モデル事業」概要・取り組み実績

※2023年3月まとめ

北海道 函館

北海道ブリリアントアクション

【対象魚種】ブリ

【主催】一般社団法人Blue Commons Japan

【地域における海の変化・課題】魚種交代、未利用魚



【開発メニュー・商品】

- ◎北海道ブリたれカツ
- ◎函館ブリたれカツバーガー
- ◎函館ブリ塩ラーメン
- ◎北海道ブリ醤油ラーメン

【取り組み】

- ◎子ども向けイベント「地ブリパーク」
- ◎アンテナショップ「函館朝市 地ブリショップ」
- ◎移動販売(BTKBキャラバン) など

「函館ブリ塩ラーメン」は
令和4年度 北海道新技術・新製品開発賞 食品部門「大賞」を受賞



静岡県 熱海市

熱海千魚ベースプロジェクト

【対象魚種】相模灘でとれる多様な「未活用魚」

【主催】熱海千魚ベースプロジェクト

(運営:海のごちそう地域モデルin熱海/特定非営利活動法人atamista)

【地域における海の変化・課題】未利用魚・低利用魚



熱海 千魚ベース
ATAMI THOUSANDS FISH BASE

【開発メニュー・商品】

- ◎まるごとフィッシュブイヨン
2023グッドデザインしずおか「特別賞」受賞
- ◎小さいサバの大きなカレーパン
- ◎ひみつの炊き込みごはん
- ◎カードゲーム など

【取り組み】

- ◎幼保連携
(給食で未活用魚提供及び、海のレクチャーの実施)
- ◎教員向けプログラム
- ◎飲食店・小売店連携
(熱海市内・静岡県東部・首都圏) など



山口県 下関市

下関ふくレボリューション

【対象魚種】下関近海でとれるサバフグなどの天然フグ
【主催】一般社団法人Minato de フォーラム
【地域における海の変化・課題】魚種交代、未利用魚

【開発メニュー】

◎ふくフリット

【取り組み】

◎飲食店連携(下関市内)
◎学校連携(授業)
◎学校向け教材の開発
◎大学と連携した保育課程の教育実習サポート
「ふくレボ演習」など



山形県 庄内浜

天然印 庄内浜テロワール

【対象魚種】鯛
【主催】海と食の地域モデルin庄内浜実行委員会
【地域における海の変化・課題】天然魚の食文化の喪失

【開発メニュー】

◎庄内浜の鯛だし麺

【取り組み】

◎学校連携(授業)
◎子供向けイベント
◎マルシェイベント
「みなとオアシスまつり×海のマルシェ」
◎飲食店・小売店連携(山形県内) など



青森県 下北半島

大間アゲ魚っ子キャンペーン

【対象魚種】津軽海峡でとれる白身魚
【主催】一般社団法人海と大間の未来つくり隊
【地域における海の変化・課題】未利用魚、子どもの魚離れ・海離れ

【開発メニュー】

◎アゲ魚っ子ボール
◎ホッケドッグ
◎海のアゲ弁

【取り組み】

◎学校連携(授業、給食)
◎首長表敬訪問
◎飲食店連携(青森県内・首都圏)
◎海の体験ツアー
「津軽海峡 海の子アカデミー」など



大分県 佐伯市

佐伯ウラオモテアクト

【対象魚種】アイゴ
【主催】一般社団法人KIISA
【地域における海の変化・課題】磯焼け

【開発メニュー】

◎アイゴのフライ「アイボー」

【取り組み】

◎学校連携(授業、給食)
◎子ども海洋体験イベント
◎飲食店・小売店連携
(大分県佐伯市・大分市)
◎アイゴの試食会・トークイベント
「佐伯ウラオモテアクト
浦とアイゴがつなぐうみらい」など



鳥取県

鳥取ブルーカーボンプロジェクト
「豊かな海の再生を目指して」

【対象魚種】ムラサキウニ
【主催】鳥取ブルーカーボンプロジェクト「豊かな海の再生を目指して」
実行委員会(公益財団法人 鳥取県栽培漁業協会)
【地域における海の変化・課題】磯焼け

【開発メニュー】

◎とっとりムラサキウニムース

【取り組み】

◎学校連携(授業、給食)
◎飲食店連携(鳥取県内)
◎「ウニ蓄養試験研究」
◎子供向けイベント
「とっとり海のごちそう祭り」など



富山県 射水市

TOYAMA ONLY ONE
THE EXPERIENCE

【対象魚種】シロエビ
【主催】海と食の地域モデルin射水実行委員会
【地域における海の変化・課題】水産資源保全

【開発メニュー】

◎射水シロエビ・
くりむ・コロッケ

【取り組み】

◎飲食店・小売店連携
(富山県射水市内)
◎シロエビ漁体験イベント
◎マルシェイベント
「射水・シロエビ・マルシェ」など



三重県 熊野

草食系おとの大変身プロジェクトinみえ熊野

【対象魚種】シーベジたべるフィッシュ
【主催】一般社団法人旅する学校
【地域における海の変化・課題】磯焼け

【開発メニュー】

◎シーベジたべる
フィッシュのヅケ

【取り組み】

◎小学生向けイベント
「ワクワク探検隊! 海の森と生き物を知ろう」
◎学校連携(給食)
◎高校生向けイベント
◎飲食店連携(三重県内) など



鹿児島県

かごしま美味深海

【対象魚種】鹿児島近海でとれる深海魚
【主催】海と食の地域モデルinかごしま実行委員会
【地域における海の変化・課題】未利用魚・低利用魚

【開発メニュー】

◎かごしま美味深海○○
(かごしま美味深海ビザなど
各店舗で考案)

【取り組み】

◎学校連携(授業、給食)
◎飲食店・小売店連携(鹿児島県内)
◎イベント
「かごしま美味深海フェスティバル」など



青森県

●下北半島・大間町

アゲアゲ〜



海のまち「大間」に 希望を作る3年間でした。

大間アゲ魚っ子キャンペーン
プロデューサー 島 康子さん(青森県大間町)

2000年から「まちおこしゲリラ」を名乗り、大間のために今自分ができること精一杯取り組んできました。一方で、海が変化し、魚がとれなくなり、子どもたちは海で遊ばず魚を食べないという現状に危機感もありました。海のまち・大間で海がダメになり、子どもたちが海に関心を持たな

くなったら、夢も希望もなくなります。そんなときに「海のごちそう地域モデル事業」の助成をいただき、未利用の白身魚を使ったメニュー開発を入口に、海洋教育と海の食育に着手しました。

2年かけて町内はもちろん都市部にも飲食店連携を広げ、青森県内に全38店を展開するスーパーと連携したことで一気に県内に拡散。3年目(2023年度)は、大間を含む下北半島5市町村の首長を表敬訪問し、4年目以降の自走化に向けて「海の食育」協力金の予算化をお願いしました。これまでの活動と発信の積み重ねが功を奏し、5市町村全てで快諾を得ています。

今後は持続可能な事業体と活動拠点を作ることが目標です。少量多品種の魚の加工品の製造卸・販売を自ら手掛ける地産地消の体制を整えるとともに海洋教育を続け、下北半島を海の食育と海洋教育の先進地にしていきたいですね。

島 康子さん プロフィール

青森県大間町出身。進学・就職で17年間に渡る都市生活を経て、ふるさと大間にUターン。まちおこしゲリラとして、「まちおこし」に「海の食育」にと、エネルギーかつ多彩に活躍中。



下北半島5市町村の首長と「アゲアゲポーズ」で記念撮影。連携を約束してくれた「証拠」としてPRに活用した。



未利用の白身魚をミンチにして揚げた「アゲ魚っ子」を活用したメニュー約1000食を下北半島管内の小中学校11校の児童生徒に無償提供した。



東京で開催された「海のごちそうフェスティバル」に2年連続で出店。マグロの大間がなぜ白身魚を?と多くの人の関心を集めた。



むつ市脇野沢小学校の児童から寄せられた給食のお礼メッセージ



海に関する「学び」や「気づき」を方言でキャッチーに表現したポスター。海の課題を「自分ごと」として認識する子供が増えた

イベント参加児童の声

VOICE

今日おしえてもらったこと以外にも、もっと海のことを知りたい。おしえてもらいたいのと思います。

アゲ魚っ子がとてもおいしかったし、海と日本プロジェクトに興味を持った。海で起きている問題はしたら治るか、解決したいです。

いろんな人たちに魚を食べてほしいと思ったし、魚がいつまでもとれるように海をきれいにしたいと思いました。

これからもこの活動を続けてほしいと思いました。私も積極的に参加していこうと思いました。

海を守るために、大間町に住んでいる人たちと協力して海をきれいにしたいと思いました。家族には、海を大事にするんだと教えてあげたい。

【関連事業】

海のごちそうプロジェクト

「海のごちそう」をきっかけに「おいしい、以上に知ってほしい海」を伝え、「知れば知るほど、海はおいしい」を実感する人を増やしていくことを目標に、海ごころを育み、多様な人・地域を巻き込んで、海を未来へ引き継ぐアクションを推進しています。

【これまでの主な取り組み・施策】

- ◎キャンペーン「海のごちそうウィーク」
- ◎イベント「海のごちそうフェスティバル」
- ◎海のごちそう地域モデル事業
- ◎日本さばけるプロジェクト
- ◎海のごちそうブックレット
- ◎海のごちそうテレビ番組 など



公式サイト <https://shoku.uminohi.jp/>

日本財団 海と日本プロジェクト

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。



公式サイト <https://uminohi.jp/>

日本財団「海と日本プロジェクト」公式SNS



YouTube



X



Instagram



facebook



「海のごちそう地域モデル事業」 に関するお問合せ先

事務局 info@umi-nippon.com

「海のごちそう地域モデル事業」のご紹介
2023年度版パンフレット
制作・発行(一社)Blue Commons Japan